



株式会社カイオム・バイオサイエンス

第19回 定時株主総会 招集ご通知

- 開催日時** 2023年3月28日（火曜日）
午前10時
- 開催場所** ベルサール西新宿ホール
東京都新宿区西新宿四丁目15番3号
住友不動産西新宿ビル3号館1階
- 決議事項** 第1号議案 取締役5名選任の件
第2号議案 監査役1名選任の件

書面（郵送）およびインターネットによる議決権行使は
2023年3月27日（月曜日）午後5時までにお問い合わせ申し
あげます。詳細は2～3ページをご参照ください。

証券コード 4583
2023年3月7日

株主の皆様へ

東京都渋谷区本町三丁目12番1号
株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表取締役社長 小林 茂

第19回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第19回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席されない場合は、インターネットまたは書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討いただき、2023年3月27日（月曜日）午後5時までに、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2023年3月28日（火曜日）午前10時
2. 場 所 東京都新宿区西新宿四丁目15番3号 住友不動産西新宿ビル3号館1階
ベルサール西新宿ホール
3. 目 的 事 項
報 告 事 項 第19期（2022年1月1日から2022年12月31日まで）事業報告および計算書類報告の件
決 議 事 項
第1号議案 取締役5名選任の件
第2号議案 監査役1名選任の件

以 上

◎なお、本総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトIRライブラリに掲載しておりますので、アクセスの上、ご確認くださいようお願い申し上げます。（<https://www.chiome.co.jp/ir/library/library4/>）

電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下東証ウェブサイトアクセスして、銘柄名（会社名）または証券コードを入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を選択の上、ご確認くださいようお願い申し上げます。

（<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>）

◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎書面交付請求をいただいた株主様は電子提供措置事項を記載した書面を併せてお送りしますが、当該書面は、法令および当社定款第18条の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

①会社の株式に関する事項（2022年12月31日現在）、②会社の新株予約権等に関する事項、③業務の適正を確保するための体制、④業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要、⑤株主資本等変動計算書、⑥個別注記表

従いまして、当該書面に記載している事業報告、計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査役が監査報告を作成するに際し、監査役および会計監査人が監査をした対象書類の一部であります。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、当社ウェブサイトおよび東証ウェブサイトにて、修正した旨、修正前の内容および修正後の内容を掲載させていただきます。



議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆様の大切な権利です。
後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



書面（郵送）で議決権を行使される場合

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

2023年3月27日（月曜日）
午後5時到着分まで



インターネットで議決権を行使される場合

次ページの案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2023年3月27日（月曜日）
午後5時入力完了分まで



株主総会にご出席される場合

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

日 時

2023年3月28日（火曜日）
午前10時

議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

こちらに議案の賛否をご記入ください。

第1号議案

- 全員賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 全員反対する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者を反対する場合 >> 「賛」の欄に○印をい、反対する候補者の番号をご記入ください。

第2号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 >> 「否」の欄に○印

※議決権行使書はイメージです。

【インターネットによる議決権行使の場合】

当社指定の議決権行使ウェブサイト（<https://www.web54.net>）にアクセスしていただき、同封の議決権行使書用紙に表示された「議決権行使コード」および「パスワード」をご利用のうえ、画面の案内にしたがって、議案に対する賛否をご入力ください。インターネットによる議決権行使に際しましては、3ページの「インターネットによる議決権行使のご案内」をご確認くださいようお願い申し上げます。インターネットにより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。

【書面（郵送）による議決権行使の場合】

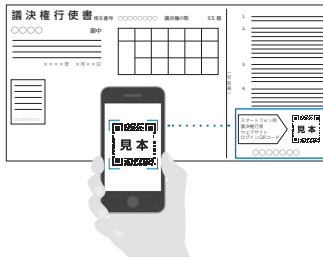
同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書用紙において、議案に対する賛否の表示がない場合には、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。インターネットおよび書面（郵送）の両方で議決権行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。

インターネットによる議決権行使のご案内

QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

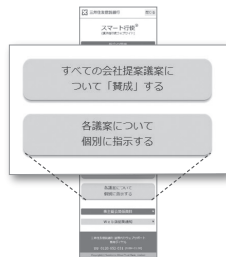
議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

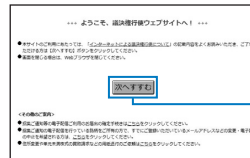
議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。

※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

議決権行使コード・パスワードを入力する方法

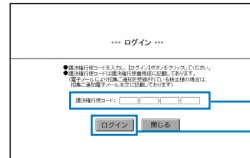
議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



「次へすすむ」をクリック

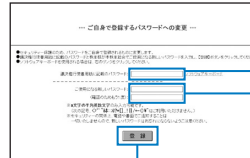
- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



「議決権行使コード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力ください。



「初期パスワード」を入力

実際にご使用になる新しいパスワードを設定してください

「登録」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォン、携帯電話の操作方法などが不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル
電話番号：0120-652-031 (フリーダイヤル)
(受付時間 9:00~21:00)

株主総会参考書類

議案および参考事項

第 1 号議案 取締役 5 名選任の件

取締役全員（4 名）は本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、経営体制の強化を図るため、1 名を増員し、取締役 5 名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当、および重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
1	こ ばやし しげる 小 林 茂 (1953年12月5日生) 再 任	1978年 4 月 協和発酵工業(株)（現 協和キリン(株)）入社 2003年11月 Kyowa Hakko UK Ltd. 社長 2005年 4 月 Kyowa Pharmaceutical, Inc.（現 Kyowa Hakko Kirin Pharma, Inc.）社長 2008年 5 月 協和発酵工業(株)（現 協和キリン(株)）医薬研究開発本部 部長 2009年 4 月 当社入社 事業開発部シニアディレクター 2010年 7 月 当社 取締役 事業戦略室シニアディレクター 2011年 1 月 当社 取締役 事業本部シニアディレクター 2016年 1 月 当社 取締役 2017年 2 月 当社 代表取締役社長（現任） [当社における担当] 研究開発・事業担当	213,600株
		(取締役候補者とした理由) 小林茂氏は、大手製薬企業における臨床開発や事業開発、海外子会社経営等の豊富な経験に基づき、当社の経営を牽引しております。今後も引き続き取締役会の意思決定に際して、取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断いたしました。	
2	び じょ ひら あり ひこ 美 女 平 在 彦 (1978年6月5日生) 再 任	2000年 3 月 (株)産業育成研究所 入社 2003年 8 月 ファイザー(株) 入社 医薬営業部門 2007年10月 大鵬薬品(株) 入社 経理・海外事業部門 2013年 1 月 当社入社 研究開発本部研究企画推進課 マネージャー 2014年 4 月 当社 コーポレートプランニング部 ディレクター 2016年 1 月 当社 執行役員 コーポレート本部長 2017年 3 月 当社 取締役（現任） [当社における担当] 経営企画・管理担当	21,800株
		(取締役候補者とした理由) 美女平在彦氏は、大手製薬企業における経営企画・経営管理の経験に基づき、当社の経営管理業務を牽引しております。今後も引き続き取締役として職務を適切に遂行できるものと判断いたしました。	

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、地 位、担 当、お よ び 重 要 な 兼 職 の 状 況	所有する当 社の株式数
3	く ぼ た はる ひさ 久 保 田 晴 久 (1950年1月22日生) 再 任	1976年 4 月 厚生省（現 厚生労働省）入省 1997年 4 月 医薬品機構（現 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）） 信頼性保証部長 1999年 4 月 財医療機器センター 調査部長 2001年10月 第一製薬㈱（現 第一三共㈱） 入社 開発統括担当部長 2005年 7 月 第一製薬㈱（現 第一三共㈱） 執行役員 薬事部長 2009年 4 月 第一三共㈱ 執行役員 安全性情報部長 2011年 4 月 第一三共㈱ 常務執行役員 信頼性保証本部長 2013年 4 月 北里第一三共ワクチン㈱ 取締役副社長 開発研究本部長 2015年 4 月 同社 顧問 2015年 4 月 国立国際医療研究センター 品質保証統括責任者（現任） 2019年 3 月 当社 社外取締役（現任）	—
		（社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要） 久保田晴久氏は、厚生省（現 厚生労働省）、医薬品機構（現 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA））、医療機器センターおよび大手製薬企業において豊富な経験と幅広い見識を有しています。特に薬制薬事についての見識を活かした専門的な観点からの助言や提言が当社の企業価値向上に向けて有効に発揮することを期待し、今後も引き続き取締役として、当社の経営の重要事項の決定および業務執行の監督を行い、職務を適切に遂行できるものと判断いたしました。	
4	た お か しやう せ 田 岡 照 世 (1969年4月26日生) 新 任	1994年 4 月 日本ルセル㈱入社 1997年 1 月 協和発酵工業㈱（現 協和キリン㈱）入社 2010年 4 月 同社 臨床開発センター 臨床開発グループ長 2014年 4 月 同社 中枢神経R&Dユニット マネジメントオフィス長 2018年 9 月 当社入社 臨床開発部長 2020年 6 月 当社 開発本部長（現任）	10,000株
		（取締役候補者とした理由） 田岡照世氏は、大手製薬企業の医薬開発部門を経て当社に入社後、臨床開発部門の責任者として当社初の臨床試験となるCBA-1205の第一相試験およびTribody™抗体CBA-1535の第一相試験の2つを立ち上げ、現在も着実に実施しています。がん、中枢領域における豊富な開発経験を活かし、今後も当社の臨床開発を牽引して会社の発展に貢献し、職務を適切に遂行できるものと判断いたしました。	

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、地 位、担 当、お よ び 重 要 な 兼 職 の 状 況	所有する当 社の株式数
5	こ いけ まさ みち 小 池 正 道 (1962年10月3日生) 新 任	1987年 4 月 協和発酵工業(株) (現 協和キリン(株)) 入社 2007年 4 月 BioWa,Inc. President and CEO 2011年 4 月 Kyowa Hakko Kirin Pharma, Inc. President 2013年 4 月 協和発酵キリン(株) (現 協和キリン(株)) 開発本部 開発企画部長 2014年 4 月 同社 研究開発本部 がんR&Dユニット長 2018年 4 月 同社 フェロー 研究開発本部 研究機能ユニット長 2020年 6 月 加藤記念バイオサイエンス振興財団 理事長 (現任) 2021年 4 月 協和キリン(株) 研究開発本部 研究ユニット長 (現任) (取締役候補者とした理由) 小池正道氏は、大手製薬企業の抗体研究・抗体創薬、更に創薬全般の指揮を執るなど長年の抗体分野での研究開発や海外子会社経営等、豊富な経験を有しています。今後、当社が抗体創薬で一層の飛躍を目指すためには小池氏の指導の下、創薬、開発研究を進めることは当社の利益に適い、取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断いたしました。	—

- (注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 久保田晴久氏は、社外取締役候補者であります。
3. 久保田晴久氏は2019年3月28日開催の第15回定時株主総会にて社外取締役に選任されており、当社社外取締役に就任してからの年数は本総会の終結の時をもって4年であります。
4. 久保田晴久氏は、東京証券取引所が定める独立役員であります。同氏が原案どおり選任された場合は、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。
5. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、久保田晴久氏との間において、会社法第423条第1項に定める賠償責任の限度額を、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに限り会社法第425条第1項に定める最低責任限度額とする旨の責任限定契約を締結しております。同氏が原案どおり選任された場合には、本契約を継続する予定であります。
6. 当社は、会社法第430条の3に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、当該保険により被保険者が負担することになる、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を補填することとしております。ただし、法令違反の行為であることを認識して行った場合等一定の免責事由を設定し、役員等の職務執行の適正性が損なわれないように措置を講じています。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社取締役及び当社監査役であり、すべての被保険者について、その保険料を全額当社が負担しております。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

第2号議案 監査役1名選任の件

社外監査役山川善之氏は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴、地位および重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
やま かわ よし ゆき 山 川 善 之 (1962年8月21日生)	1986年4月 日本生命保険相互会社 入社 1995年9月 イノテック(株)企画室長 2001年9月 (株)ソーせい (現 ソーせいグループ(株)) 経営企画部長 2003年10月 同社 取締役副社長CFO 2004年10月 同社 代表取締役副社長CFO 2006年12月 響きパートナーズ(株) 設立 代表取締役社長 2008年6月 (株)リプロセル 社外取締役 (現任) 2014年3月 (株)デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 社外取締役 (現任) 2019年3月 当社 社外監査役 (現任) 2020年3月 ソレイジア・ファーマ(株) 社外監査役 (現任) 2022年12月 響きパートナーズ(株) 取締役会長 (現任)	—
再 任	(社外監査役候補者とした理由) 山川善之氏は、会社経営に関する幅広い見識とバイオベンチャー企業の投資や経営等の豊富な経験を有することから、当社の社外監査役として相応しいと判断し、引き続き社外監査役としての選任をお願いするものであります。	

- (注) 1. 山川善之氏は、社外監査役候補者であります。
2. 山川善之氏と当社との間には特別の利害関係はありません。
3. 山川善之氏は2019年3月28日開催の第15回定時株主総会にて社外監査役に選任されており、当社社外監査役に就任してからの年数は本総会の終結の時をもって4年であります。
4. 山川善之氏は、東京証券取引所が定める独立役員であります。同氏が原案どおり選任された場合は、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。
5. 当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、山川善之氏との間において、会社法第423条第1項に定める賠償責任を限定する締結しております。同氏が原案どおり選任された場合には、本契約を継続する予定であります。
6. 当社は、会社法第430条の3に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、当該保険により被保険者が負担することになる、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を補填することとしております。ただし、法令違反の行為であることを認識して行った場合等一定の免責事由を設定し、役員等の職務執行の適正性が損なわれないように措置を講じています。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社取締役及び当社監査役であり、すべての被保険者について、その保険料を全額当社が負担しております。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

以 上



事業報告サマリー

事業の経過

当事業年度における国内外の経済環境は、急速な為替の変動、世界的な資源価格の高騰やインフレの進行など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。こうした外部環境の中、当事業年度における当社業績につきましては、売上高630,815千円、研究開発費1,135,613千円、営業損失1,258,655千円、経常損失1,243,838千円、当期純損失1,242,871千円となりました。経済環境による当社業績への影響は限定的であり、創薬支援事業の売上高は堅調に推移いたしましたが、創薬事業では当事業年度はライセンス契約締結一時金等の売上計上がなかったことにより、前期比減収となりました。また損益につきましては、研究開発費において臨床試験用の製剤製造費用等の計上額が前事業年度よりも減少したこと等により、営業損失、経常損失、純損失ともに前期比で赤字幅の縮小となりました。

創薬事業

自社開発中のファースト・イン・クラス抗体CBA-1205の臨床第1相試験は順調に進み、前半パートでは安全性・忍容性の高さが示され、現在、肝細胞がん患者さんを対象として本剤の安全性と初期の有効性を確認する後半パートの症例の登録が進行しております。また多重特異性（Tribody™）抗体CBA-1535も2022年6月末に患者さんへの最初の投与を開始して以降、計画に沿って固形がん患者さんでの安全性を確認するパートが進行しております。

創薬パイプラインPCDCは、2022年7月にADC技術の研究用途での導入およびオプショントークをHeidelberg Pharma社と締結し、データパッケージの補強や、国内外の学会・ビジネスカンファレンスへの参加など導出契約獲得に向けた活動を強化しました。その他、非臨床および探索段階にある創薬プロジェクトにおいても、CBA-1535の次世代型となるTribody™抗体PTRYの新規の特許出願が完了するなど、開発候補抗体の創出や知財化に向けた研究開発を継続し、パイプラインの質・量の拡充に向けた取り組みを進めました。

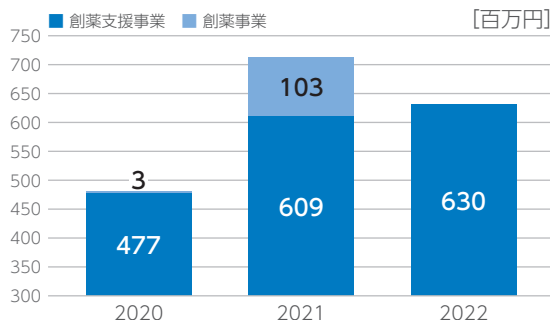
創薬支援事業

創薬支援事業では、当社の独自の抗体作製手法であるADLib®システムによる抗体作製業務や抗体の親和性向上業務のほか、タンパク質調製業務を受託し、国内の主要製薬企業を中心にバイオ医薬の研究支援の展開で、安定的な取引を継続しております。取引先からは当社の技術サービス力をご評価いただき、着実に取引件数や案件数が広がり、2022年7月にはロート製薬株式会社との委受託契約を締結いたしました。収益基盤の強化のための新規顧客の開拓は継続して進めており、今後も本事業の伸長に向けて取り組んでまいります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年（第19期）	630 (創薬 ー、創薬支援 630)	△1,258	△1,243	△1,242
2021年（第18期）	712 (創薬 103、創薬支援 609)	△1,334	△1,329	△1,479

業績ハイライト

売上高

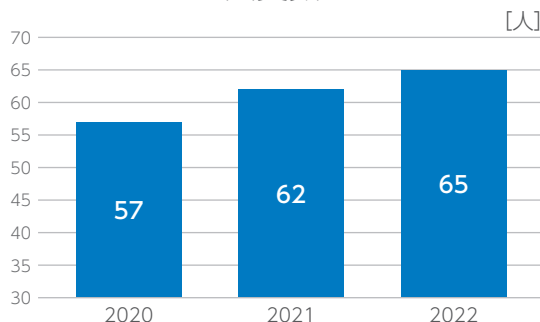


売上高

創薬支援事業では、中外製薬株式会社、小野薬品工業株式会社、協和キリン株式会社等の国内製薬企業との取引における売上が堅調に増加しております。ADLib®システムやタンパク調製技術を活用した研究支援を高くご評価いただき、安定した事業収益を確保しております。

創薬事業は2021年にライセンス契約締結に伴う契約一時金を計上しましたが、2022年は契約締結がなく、今後の契約締結に向けた導出活動を強化しております。

人員数

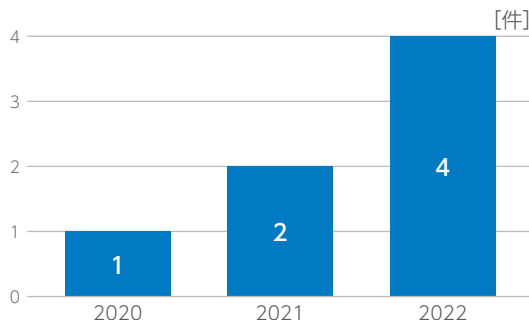


人員数

当社ではパイプラインの開発進捗にあわせて、開発部門を中心に専門家人員を増員し、2020年にはCBA-1205、2022年にはCBA-1535の臨床試験を開始しており、それぞれの治験は現在まで計画通り順調に進捗しております。

また、受託事業の拡大を企図した人員拡充に加えて、研究所の拡大や実験設備の増設も行い、高まるニーズに十分にお応えできる組織体制を構築しております。

新規出願数



新規出願数

臨床開発や導出活動を進めるパイプラインに続く新規パイプラインの創製に向けた基礎研究および新規の特許出願も推進しており、新規出願数は増加しております。また当社の抗体基盤技術に関する特許出願も行っております。導出一時金や開発マイルストーン等の獲得を目標とする当社にとって、継続的な新規リード抗体の獲得や知財化は重要な課題として取り組んでおります。

トピックス

CBA-1535 Tribody™抗体として世界初の臨床試験が始動

がん治療用抗体CBA-1535は、Tribody™フォーマットの抗体として世界初の臨床試験が始まりました。2022年2月16日付けで医薬品医療機器総合機構（PMDA）に治験計画届を提出し、2022年6月末に固形がん患者さんへの最初の投与を開始して以降、予定どおりに治験が進行しております。治験は、国立がん研究センター中央病院および静岡がんセンターで実施されており、段階的に用量を上げながら、安全性と初期の有効性を確認しています。

社内ではさらに、CBA-1535の次世代型となるTribody™抗体PTRYの新規の特許出願が完了するなど、リード抗体の創出や知財化に向けた研究開発を継続しております。

創薬事業パイプライン一覧

導出品

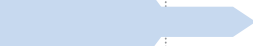
開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床第1相試験	導出先
ADCT-701 (LIV-1205 ADC)	DLK-1	がん (ADC)				2017.9～ 

自社開発品

★ ファーストインクラス
★★世界初の創薬モダリティでの臨床入り

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床第1相試験	ステータス
*CBA-1205 (ADCC enhanced)	DLK-1	がん				第1相試験中
**CBA-1535 (Tribody™)	5T4×CD3 ×5T4	がん				第1相試験中

導出候補品及び創薬プロジェクト

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床第1相試験	ステータス
*PCDC	CDCP1	がん (ADC)				導出活動中
PTRY	5T4×CD3 ×PD-L1	がん				特許出願完了 新規パイプライン化
*BMAA	SEMA3A	非開示				導出活動中
LIV-2008/2008b	TROP-2	がん				導出活動中
創薬PJ/探索研究 (常時10テーマ 程度進行)	非開示	がん/中枢神経 自己免疫疾患他				—

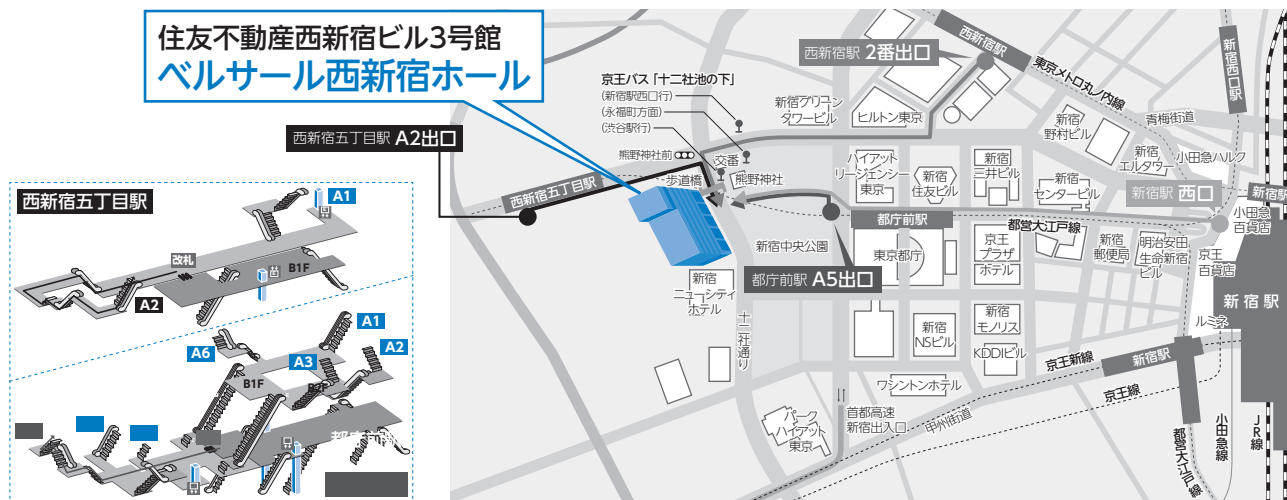
2023年2月14日時点

株主総会会場ご案内図

会場

東京都新宿区西新宿四丁目15番3号 住友不動産西新宿ビル3号館1階

ベルサール西新宿ホール 電話 03(3320)2611



交通のご案内

都 庁 前 駅	(都営大江戸線) A5出口	徒歩 5 分
西新宿五丁目駅	(都営大江戸線) A2出口	徒歩 6 分
西 新 宿 駅	(東京メトロ丸ノ内線) 2番出口	徒歩12分
新 宿 駅	(JR線他) 西口	徒歩15分

駐車場・駐輪場の用意はいたしておりませんので、お車等でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

バス利用の場合

新宿駅西口交番脇階段地上出口11
⑬⑯番乗場より「京王バス」乗車

「十二社池の下」下車
熊野神社方面徒歩2分

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応について

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、株主総会へのご出席を検討されている株主様におかれましては、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をご確認のうえ、マスク着用などの感染予防にご配慮いただき、ご来場くださいますようお願い申し上げます。
- 株主様ご自身やご来場の株主様の保護のため、感染による影響が大きいとされる、ご高齢や基礎疾患のある株主様、妊娠中の株主様、体調のすぐれない株主様には、ご来場につき慎重なご判断をお願い申し上げます。

- 会場内での滞在時間の短縮を図るため、本株主総会の議事は、会議の目的事項を達するために必要な報告、説明のみを短時間で行う予定にしています。ご報告およびご説明すべき事項の多くはインターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ご出席の際はあらかじめご高覧いただきますようお願い申し上げます。

- 今後、株主総会の運営方法等について大きな変更が生じる場合は、当社ホームページにてお知らせいたしますので、ご来場の前にご確認くださいませようお願い申し上げます。

<https://www.chiome.co.jp/news/>